

令和二年十月二十四日発行



人の世話になって生まれて生きて、人の世話になって怪我や病気を治し、人の世話になって老いて死んでいく。どうしたって世話にならんといかんです。だったら世話にならんこと考えるより世話になった人に目いっぱい感謝を送りましょう。

## こんぴら祭

本年のこんぴら祭はコロナ禍のため、おてらマルシエ等は中止となります。大般若祈祷祭のみ行わせていただきます。

十一月二十三日（月） 勤労感謝の日

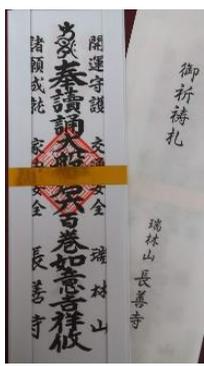
十三時 大般若祈祷祭

十四時より、子供向けのお菓子を配りますので、お参りください。

先着50個

祈祷札 二千円

世話人様を通じて祈祷札の案内をさせていただきます。どうぞお申込みください。



## 念佛行道修行体験

### ◎十夜法要

十夜（じゅうや）とは『無量寿経』の一節に「煩惱や苦しみ悪行に満ち溢れ、心が休まることのない娑婆世界で十日十夜の間、善行を修めることは、自然に功德が積める仏の世界で千年にわたって善行に励むよりもすぐれている」と説かれていることに由来します。

お十夜の歴史は古く、永享年間（1430年頃）に室町時代の第6代將軍足利義教の執権平貞経の弟平貞国が世の儆さを感じて、仏道に生きようと京都の真如堂にこもり、十日十夜の念佛行を行ったことが始まりとされています。

もともとは旧暦の10月5日夜から15日の朝まで、十日十夜にわたってお念仏をと念える法要でした。

お粥（かゆ）のことを「おじゃ」と言いますが、一説によると、「おじゅうや」が訛（なま）って「おじゃ」になったのではないとも言われています。

期日 十一月二十八日（土）

本年は新型コロナウイルス感染防止のため、お粥の提供を自粛させていただきます。マスクの着用・手指消毒をお願いします。

午後7時

念佛行道&十夜法要

午後7時45分

百万遍数珠念仏

午後8時頃 解散

持ち物 数珠・袈裟

参加費 無料

塔婆回向 千円



# 檀信徒会館新築工事 進捗報告

基礎工事が順調に進み10月中旬に完了しました。



いよいよ建物の工事が始まります。

## 上棟式のお知らせ



11月16日(月) 10時より

檀信徒会館の上棟式を行います

コロナ禍のため、密となる「もち投げ」はできませんが、式後に「祝い菓子」をお配りしますので、お時間ある方はマスク着用の上、どうぞご参列ください。



## 山門 瓦葺き替え緊急工事

先月号でご報告の通り、雨の影響により山門の瓦が落ちてしまいました。現状ブルーシートで覆って雨が入らないようにしていますが、まだ瓦が落ちてくる危険性があります。

以来120年間、風雪に耐えて来ましたが、いよいよ瓦を葺き替える時期を迎えたようです。

いつまでもブルーシートを被せて、危険な状態のまま放置しておく訳にもいきません。先代住職の後押しもありましたので、急遽、瓦葺き替え工事をする事になりました。

何とか年内で工事を終了させ、綺麗に葺き替えられた山門で新年を迎えたいと思います。

## 瓦奉納のご案内

瓦の葺き替えにあたり、瓦奉納のご案内をさせていただきます。皆様の願いを住職が一枚一枚の瓦に奉書し、本堂で祈願回向の上、山門に葺かせていただきます。

奉納をご希望される方は別紙申込書に記入いただき、奉納料をそえてお申込みください。

奉納料 瓦一枚 2千円

※急遽の工事の為、受付期間は12月初旬までとなります。



## 5、念佛往生（み名を称えて）

### 1、発願

お釈迦さまは仰います。

舍利弗 いまの話の話を聞けば、きつと誰でも極楽に生まれたいとあこがれるであろう。そこで一歩進めて、是が非でも と思い西を西方極楽にかけて発願し、誓うがよい。ただ生れさえすれば、かような上善人に仲間入りし、一つ境界になることができる。そんな幸せはまたとあるまい」

けれども一良い結果を望めばそれだけ良い種を撒かねばならないという普通の考え方からすれば、極楽ほどの素晴らしい御国に生まれるには、大変な修行がいるだろう。よし、自分も人に負けないように良いことをして・とは誰しも思うことです。しかしお釈迦様は

舍利弗 それには一層善根を積むことも悪くはないが、だからと言って、いくら自分がこれだけのことしたら、大丈夫だろうと思つてすることでも、少善根一つまりそれだけでは極楽へ生まれる因にはならないのだ」

と、極楽に限つてこの世の分別で割り出したことは何一つ当たらないこと、智慧や物を積んでも結局それは消えていくものに過ぎないことをお話になりました。



棟方志功作  
釈迦十大弟子  
舍利弗

快慶作  
舍利弗  
大報恩寺蔵



2、念佛多善根  
では、極楽へ生まれる「多善根」とはいったいどんなことでしょうか。

舍利弗 善男子でも善女人でもよい。ただ阿弥陀如来のいわれを聞き、御名に備わる功徳を信じてのことだ。信じた如来の御名が心を離れず声となつて口に出て、一日でも、二日でも、三日でも、四日、五日、六日、七日でも一時節の長さや回数は何れだけでもよいその念佛が一心不乱に続くならば、その人がいよいよ臨終という時に、阿弥陀如来はおおぜいの聖衆とともに、御身を現して眼の前に立ちになる。聞くだけでも慕わしい如来の姿を目の前に拝むのだから、今はこの世の別れという一大事に臨んでも、心は少しも乱れず、たちどころに阿弥陀如来の極楽へ生まれていくことができるのだ

舍利弗は、いちばん大きい利益をうける多善根が男でも女でもできるということ。そのうえ「ただ、聞き信じ」さえすればよいという思いもよらないお言葉。この簡単なことで、如来や聖衆に迎えられ素晴らしい御国に生まれるなどとは、と不思議に思うのでした。

ところがその舍利弗に身も心も南無阿弥陀仏と一体となつて念佛が続くかといえれば、思ったほど簡単な、容易なことではありません。まだまだ分別が頭をもたげ、信じ切れることは難しく、まして自分の努力で一心不乱不退転に行を続けるなどとても自身がもてません。

## 編集後記

檀信徒会館の上棟式を行います。地鎮式も、もちろんそつでしたが仏式で行います。玉串の代わりに焼香します。柏手の代わりに合掌します。もちろんお経を称えます。興味ある方は是非ご覧ください。

最近は見かけなくなりましたが、少し前まで上棟式にもち投げをする習わしがありました。今回、建物のお披露目を兼ねてもち投げをしたかったのですが、またしても新型コロナが立ちふさがりました。残念・・・もち投げはできませんが、お菓子をお配りすることにしました。どうぞお集まりください。

「ワンパターンね」と言われてしまうかもしれませんが、金毘羅祭でもお菓子撒きができないかわりにお菓子を配ります。11月は長善寺に来れば、子供のお菓子数日分は助かりますよ（笑）

お菓子ついでに・・・長善寺本堂で年忌法要をする場合、仏様へのお供えを子供の喜ぶ菓子にしていたけると「おてらおやつクラブ」におすそ分けできます。是非ご検討ください。 一堂

## ◎お寺ピラティス

会館新築工事の為、

しばらくお休みさせていただきます



## お供えをおさがりとしておすそ分け

ほとけ様へのお供えを経済的に困難なご家庭の子どもたちにおさがりとしておすそ分けする活動をしています



homepage



YouTube



◎浄土宗発刊

エンディングノート

縁の手帖

（父にしのびてちょう）

自身の人生の振り返りにご活用ください

一冊 200円



◎永代供養合同墓  
「みかえりの塔」及び  
納骨壇」の案内

諸々の事情により

お墓を建てられない方  
のための永代供養合同  
墓と納骨壇です。

長善寺が永代に渡り  
供養させていただきます



浄土宗西山禅林寺派  
**瑞林山 長善寺**  
住職 丹羽一堂

〒448-0006 愛知県刈谷市西境町前山244番地  
TEL:0566-36-8386 FAX:0566-70-9024  
E-mail: tyozenji@gmail.com  
HP: <http://www.tyozenji.com/>